



牛津小学校 学校だより

「自分を、友達を、地域を大切にし、未来に向けて伸びゆく津保美の子の育成」

児童数436名(9/1現在) 第11号

令和元年9月19日 校長 田辺

全国学力・学習状況調査及び佐賀県学習状況調査の結果について

～学習活動のさらなる充実を目指して～

4月18日に、5・6年生を対象とした「全国学力・学習状況調査及び佐賀県学習状況調査(国語・算数)」が実施されました。その学習状況調査結果を全職員で分析し、今後の取組について考えました。一人一人教師が、子ども達の力をさらに伸ばすために、どのような授業を展開すればよいのかを改めて考え、実践することにしました。

キーワードは、「学習意欲の促進」及び学習が定着するための「継続と徹底」です。全職員で、以下の共通理解した取組を継続し徹底します。さらに、家庭学習の充実については、ご家庭の協力をよろしくお願い致します。

牛津小学校の取組

- ・各教科の授業に、話し合い活動である「つぼみタイム」の中に、書く活動も取り入れ、自分の考えや意見を明確にし、充実した学習にしていきます。
- ・授業の「めあて」と「まとめ・振り返り」を必ず設定し、毎時間の学習のねらいや学んだ内容の確かめをしていきます。
- ・ご家庭と連携し、家庭学習の習慣化と充実を図ります。

5年(現況)～佐賀県学習状況調査から

《5年生 国語科》 ◇観点別の到達度(「県平均」との比較 ◎上回る ○ほぼ同じ △下回る)

- ・どの領域も、県平均を上回っている。「話す・聞く」の領域は、これまでの話し合い学習(つぼみタイム)の積み重ねが、良好な結果につながっていると思われる。
- ・書き出しを指定している作文では、県の平均を大きく上回っている。
- ・「読むこと」は、おおむね達成できている。物語文章よりも説明的文章を読み取る力が高い。

| 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 言語事項 | 活用力 |
|-----------|------|------|------|-----|
| ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ◎ |

《5年生 算数科》

- ・4領域とも、県平均を上回っている。「量と測定」に関しては、県の正答率を大きく上回っている。
- ・「数学的な考え方」のほとんどの問題で、県平均の正答率を上回っている。
- ・長い文章問題の読解と条件がついた解答を求められる問題では、県の平均をやや下回っている。

| 知識・理解 | 技能 | 数学的な考え方 | 活用力 |
|-------|----|---------|-----|
| ◎ | ◎ | ○ | ○ |

6年(現況)～全国学力・学習状況調査から

《6年生 国語科》 ◇観点別の到達度(「県平均」との比較 ◎上回る ○ほぼ同じ △下回る)

- ・「読むこと」「言語事項」は、県平均とほぼ同じであるが、「話すこと・聞くこと」「書くこと」については、県平均を下回っている。
- ・問題文を丁寧に読み取った上で、条件に合わせて文章を書くことに課題が見られる。
- ・話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる問題では、全国平均を上回る。

| 話すこと・聞くこと | 書くこと | 読むこと | 言語事項 | 記述力 |
|-----------|------|------|------|-----|
| △ | △ | ○ | ○ | △ |

《6年生 算数科》

- ・計算問題では、四則(+・-・×・÷)の計算順序を理解していないために、全国・県正答率を下回る。
- ・示された条件をもとに、数学的な考えを導く問題に対して課題がある。
- ・図形の操作技能を伴う問題では、県平均を上回る。

| 知識・理解 | 技能 | 数学的な考え方 | 活用力 |
|-------|----|---------|-----|
| △ | ◎ | ○ | △ |